

新たにアドバイザーが誕生 地道な勉強会がますます充実

広報調査委員会委員長 福山裕治



広報調査委員会では「広報担当者フォーラム」を開催しています。8月1日のフォーラムは4回目となりました。

委員会ではかねてから、広報担当者には広報活動の基本や実践を学んでもらう機会を設けたいと考えてきました。第1回(2018年2月)から毎回出席している会員企業の方たちも多く、それがきっかけで広報調査委員会にアドバイザーとして参加してくれたのが、大谷和也さん(NEXUS)です。今回の内容は、広報のネタを探

新たなメンバーも加わり、益々充実する広報調査委員会です(前列右から2人目が福山委員長)



すコツやメディアへの伝え方をテーマに、専門家による講演とワークショップ。大谷さんが参加者の目線でアドバイスをしてくれました。いろいろなおことに気づかされました。「日遊協は1989年6月に設立され、ホール、遊技メーカー、販社、設備機器、景品卸など、同じ思いを抱く経営者が参加する、業界唯一の横断的組織です。(途中省略)さらに、店長・管理職能力開発講習・試験、人材育成フォーラム、女性活躍推進フォーラム、広

報担当者フォーラムなどでキャリアアップを目指しています」(出典「設立30周年に寄せて 明るいレジャーの新时代へ」庄司孝輝会長)。このように、日遊協では次世代の人材育成を強化する目的で委員会に興味を持って頂く提案をしたいと思います。

「パチンコ業界はPRが下手、広報もダメ」と言われがちで、確かに業界としてのまとまった広報活動は不十分と言わざるを得ません。そこで、せめて各企業の広報活動に役立つようにと立ち上げたのが「広報担当者フォーラム」。すぐに大きな効果を期待するのではなく、将来のための地道な勉強会とする考えです。その中心で活躍しているのが、ワーキンググループの小柳剛さん(京楽産業)と大森美季さん(マルハン)です。

大森さんには「女性活躍推進アンケート」でも、業界女性の就業データベースの構築、女性の離職率や育児休暇取得状況、特筆すべき女性活躍推進の取組



みなど、データを収集して、日遊協のホームページに閲覧できるように尽力して頂きました。また、

大森さんの提案で第4回広報担当者フォーラムの山方隆士さん(ネタもと)を講師にお迎えすることができました。これからも遊技業界のロールモデルとして活躍を期待しています。

大谷さんは7月の広報調査委員会委員に諮り、正式にアドバイザー就任が決定しました。広報調査委員会では小柳さんから、「メンバーに大谷さんを推薦したい。ご意見が大変参考になるので手伝ってもらえることが可能であればありがたい」という発言があり、「アドバイザー」という立場で議論に加わって頂くことになりました。

今後も委員会活動を通じて、次世代のメンバーが台頭してくれると信じています。社会に必要なとされるパチンコ産業であることを証明する使命を担って、一緒に活動していくことを望んでいます。